

会 議 録

会議の名称	平成28年度第1回東村山市保健福祉協議会				
開催日時	平成28年9月8日(木) 午後7時00分～9時00分				
開催場所	東村山市役所 いきいきプラザ2階 学習室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者： (委員) 久保秀樹委員・河津英彦委員・石塚卓也委員・大久保仁恵委員・銀川茂委員代理・山川治委員代理・丹代了委員・大原喜美子委員・飯塚岩雄委員・小泉ひとみ委員・高野和美委員・新義友委員・今井和之委員・小杉眞紗人委員・近藤幹生委員・山路憲夫委員・谷英也委員</p> <p>(市事務局) 渡部市長・山口健康福祉部長・河村健康福祉部次長・野口子ども家庭部長・田中子ども家庭部次長・新井地域福祉推進課長・進藤高齢介護課長・花田障害支援課長・空閑健康増進課長・黒井生活福祉課長・谷生活福祉課自立支援担当主査・星野子ども総務課長・谷村子ども育成課長・半井児童課長・榎本子育て支援課長・大塚地域福祉推進課計画担当主査</p> <p>●欠席者：橋本洋子委員・渡邊儀一郎委員</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	0名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 新任委員あいさつ 4 市長あいさつ 5 職員自己紹介(異動者のみ) 6 保健福祉協議会について 7 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「東村山市保健福祉協議会及び各専門部会の会議公開に関する取扱要領」について (2) 個別計画推進部会、関係会議報告 <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉計画推進部会 ・地域保健計画推進部会 ・子ども・子育て会議 ・地域包括ケア推進協議会 ・医療・介護連携推進委員会 (3) 平成27年度『ほっとシティ東村山』実績報告 (4) 第5次地域福祉計画意向調査について <ul style="list-style-type: none"> ・一般向け調査 ・障害者向け(身体障害)調査 ・障害者向け(知的障害)調査 				

	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者向け（精神障害）調査 ・障害者向け（難病）調査 ・乳幼児の親向け調査 ・小学生の親向け調査 ・中学生本人向け調査 ・地域福祉関係者向け調査 <p>8 閉会</p>
問い合わせ先	健康福祉部地域福祉推進課計画担当 担当者名 大塚 知昭 電話番号 042-393-5111（内線3183） ファックス番号 042-394-7399
会 議 経 過	
<p>（１）「東村山市保健福祉協議会及び各専門部会の会議公開に関する取扱要領について」【資料５】</p> <p>○地域福祉推進課職員（資料５をもとに概要説明） 「東村山市保健福祉協議会及び各専門部会の会議公開に関する取扱要領」について、資料５のとおり、傍聴者について氏名の記入を不要とする一部変更について、ご了解を諮りたい。</p> <p>○会長 質問、ご意見等ありますか。（一同なし） ○会長 そうしましたら、事務局提案のとおり、要領を改正してよろしいでしょうか。（一同賛成）</p> <p>（２）個別計画推進部会、関係会議報告 【資料１】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉計画推進部会（障害支援課） <p>○障害支援課長（資料６-１をもとに推進部会議事について概要説明）</p> <p>○会長 質問、ご意見等ありますか。（一同なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域保健計画推進部会（健康増進課） <p>○健康増進課長、子育て支援課長（資料６-２をもとに推進部会議事について概要説明）</p> <p>○会長 質問、ご意見等ありますか。（一同なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議（子ども総務課） <p>○子ども総務課長（子ども子育て会議議事について概要説明）</p> <p>○会長 質問、ご意見等ありますか。（一同なし）</p>	

・地域包括ケア推進協議会（高齢介護課）

○高齢介護課長（資料6-3をもとに関係会議議事について概要説明）

○会長 質問、ご意見等ありますか。（一同なし）

・医療・介護連携推進委員会（健康増進課）

○健康増進課長（資料6-4をもとに関係会議議事について概要説明）

○会長 質問、ご意見等ありますか。（一同なし）

（3）平成27年度『ほっとシティ東村山』実績報告 【資料7】

○生活福祉課長、生活福祉課職員（資料7をもとに概要説明）

○会長 質問、ご意見等ありますか。（一同なし）

（4）第5次地域福祉計画意向調査について 【資料8】

○地域福祉推進課職員 現在、平成24年から平成29年度を計画期間とする第4次地域福祉計画に沿って、地域福祉の推進を図っておりますが、計画年度の終了に伴い、次年度に第5次地域福祉計画の策定を行います。
これに先立ち、今年度は現在の東村山市の状況を把握するため基礎調査を実施いたします。

内訳としては、「一般市民、障害者、高齢者、母子（子ども）、地域福祉関係者」となっております。

また、スケジュールといたしましては11月上旬までにアンケートの内容を確定させ、12月に対象者へアンケートの発送・回収をし、年度内に報告書を作成することを予定しております。

各調査についてですが、「障害者、母子（子ども）、一般市民向けの前半部分」については、これまで各部会で一定の検討をいただいております、そこでの意見を踏まえ、今回皆様へお示ししております。

そのため、一般市民向けの問13以降と地域福祉関係者向けを中心に、本日、多くのご意見を頂ければと考えております。

・一般向け調査【資料8-1】

○地域福祉推進課職員 一般市民向けの市民意向調査につきましては、平成22年度の意向調査からの経年変化をみるためにも、基本的には前回同様の調査を実施したいと考えております。

しかしながら、健康分野において新たに調査を行いたい部分や、生活困窮者等に関する設問を追加する必要があるため、必要な設問は残しつつ、一部の設問について削除又は簡略化を行いたいと考えております。

具体的にお話しいたしますと、問1からの前半部分につきましては、計画の指標になりますので基本的に前回と同様の設問になっております。

問12の次に、主観的健康観を把握するため、「健康にかかわる考え方について自身の考えを把握するため」新規設置をしております。

問13、14につきましては、近年の「つながりの希薄化」について経年変化をみるために残しながら、近所づきあいについて、「広げていきたい」「深く付き合いたい」等、どのような意識をもっているのか、より明確になるよう選択肢を修正しております。

問16に新規設置分として、日頃から見守りや、連絡を行ってくれる方の割合を聞くための設問を追加いたしました。高齢者向け調査にも同様の設問を追加し、状況把握を行いたいと考えております。

問18の地域活動などにつきましては、前回調査では、選択肢「1、2」がわかれておらず、「時間的余裕がない」という選択肢でした。前は、多くの方がこの選択肢を選択しましたが、「時間がない」という理由が「趣味等に費やすから」なのか「経済的なことや仕事で忙しいから」なのかが確認できればと思い、修正いたしました。

問20に新規設置分として、市民の方がどのような経路から情報収集をしているのか。行政サービスの周知や地域活動の周知ごとに媒体を変えるべきかの参考にもなるかと思い、新規設置したいと考えております。

問27につきましては、当市において「市民後見人」の養成が開始されたことを受け、成年後見人となる方の選択肢に「3. 市民後見人」も追加しております。

新規設置の問いに、生活困窮者自立支援法の施行をうけ、制度の周知度の調査を行いたいと考えております。

問28～31につきましては、前回の調査において、高齢分野から調査を依頼された内容となりますので、10月に予定されている地域包括ケア推進協議会等のご意見もいただきながら修正を予定しています。

問32～33につきましては、近年、災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者名簿が法定化されたことでもありますので、それらを踏まえた設問修正等を予定しております。

○会長 質問、意見はございますか。

○A委員 アンケートの調査票の対象年齢について、18～64歳という枠組みはどのような理由からでしょうか。また、問16で、「車で10分」といったように、車を基準に表現されていますが、徒歩は考えられないのか。

○地域福祉推進課長 調査票の対象年齢につきましては、高齢者向け調査として65歳以上の方を対象とした調査を別途実施予定であることから、本調査票については対象年齢を64歳までとしております。

また、問16につきましては、ご意見の通りかと思っておりますので、表現について誤解を招かないよう、修正を検討させていただきます。

○B委員 かがみ文の中で、「ふきだし」からはみ出ている文字があるようです。

○地域福祉推進課長 調査票案のなかで、誤字等お見苦しい点があり、申し訳ござい

ません。調査票発送にあたっては、適切に校正させていただきます。

○C委員 いくつかの質問をまとめてさせていただきます。

64歳でなぜ年齢を区切っているのか、年齢を区切る必要はないのではないか。

問6⑦等で「酒、たばこ」についての設問がありますが、調査票の対象年齢が18歳からであることを考えますと、行政として「当該設問は20歳から」といったような配慮は必要ではないか。

問8について、近年、大学生の生活時間を調査しておりますと午前2時まで起きているなど、睡眠の乱れが顕著に出ています。これはスマートホンや、テレビ等の影響もあるかと思えます。これらを踏まえ、当該設問の選択肢、たとえば「10 十分な睡眠をとるようにしている」などは、このような表現だけでよいのでしょうか。

問13で、地域との関わりについて設問がありますが、その背景として「集合住宅か戸建」であるかといった情報も合わせて聞くことで、より効果的な調査になるのではないのでしょうか。

問15で「互助」と「共助」という言葉がありますが、「互助はより身近な助け合い」、「共助は広い意味での助け合い」といったとらえ方もできます。回答される方に混乱が生じないように、表現を統一するなど配慮いただければと思います。

問18で、地域活動の定義ついてだが、人のためにやる活動か、自分の利益となる活動なのか、表現があいまいと感ずるので、整備が必要と感ずる。

問21で、地域活動を活発にしていくために、経済的支援といったものより、「拠点、居場所への支援」といった意見をうかがうことが多いです。

そのようなことから、「活動拠点、居場所」といった選択肢を入れることができるのでしょうか。また、問35についても同様に居場所を追加できるかご検討ください。

問24において、生きがいや、困りごとを聞いていますが、困りごとの中に「趣味やスポーツ」といった活動が含まれていません。人によっては、地域とのつながりがないため、活動したくてもできないことが悩みということもあるかと思えますので、選択肢についてご検討ください。

問28の選択肢2について、誤解を招くような表現となっている。「税の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい」とあります。この設問は、税負担とサービスのバランスについて伺っているかと思えますが、近年の高齢化により、既存のサービスを維持するだけでも税負担が重くなる傾向にあります。そのため、誤解を招かないよう「税金の負担はほどほどにしつつ、現状維持をしてほしい」といった矛盾をした表現にならないよう検討ください。

問35についても、地域活動するための活動の拠点、活動の場所が入ってくるのではないか。

○地域福祉推進課長 今後検討される65才以上アンケートについても年齢ごとの動きを見たいものについては同じ問いをしていく。

問6につきましては、地域保健部会でも年齢要件と「酒、たばこ」についてのご意見をいただいたところです。例えば設問中に「20歳以上の方にお伺いします」といった文言を入れる等、標記について検討させていただきます。

問8について、睡眠等の考え方も変わってきているという意見があったので、今後、地域保健計画部会でも意見を聞いていきたい。

○健康増進課長 十分な睡眠をとれていない理由はたくさんあると思うが、質問の

数等があるので、検討していきたい。

- 地域福祉推進課長 問13からの、地域の関わり方が「集合住宅か戸建」で変わってくるという考え方はありませんでした。「基本情報」に追加設問をいれるか、当該設問中で対応するか等、検討させていただきます。

問15、問18、問21、問24、問28、問35につきましても、選択肢の表現について、持ち帰らせていただき、関係所管等と協議の上、必要な修正を行わせていただきます。

- ・障害者向け（身体障害）調査【資料8-2】
- ・障害者向け（知的障害）調査【資料8-3】
- ・障害者向け（精神障害）調査【資料8-4】
- ・障害者向け（難病）調査【資料8-5】

- 地域福祉推進課職員 資料8-2～8-5をもとに概要を報告

障害者向け調査票につきましては、前回と同様に「身体、知的、精神、難病」の4種別に調査を実施する予定となっております。

法改正による文言修正が主で、基本的には前回の調査内容と同じとなっております。

知的障害者向けの調査票に関しては、ふりがなをつけております。

また、視覚障害者へは、音声読み上げコード等を導入するなど、一定の配慮をすることを検討中であります。

- 会長 質問、意見はございますか。（一同なし）

- ・乳幼児の親向け調査【資料8-6】
- ・小学生の親向け調査【資料8-7】
- ・中学生本人向け調査【資料8-8】

- 地域福祉推進課職員 資料8-6～8-8をもとに概要を報告

母子保健に関する調査票につきましては、今年度より新しく実施する調査になります。これまで、子ども・子育て支援事業計画の補足調査や、レインボープラン策定にあたっての調査などを行ってきましたが、内容は大きく変えております。

今まではどのような市のサービスを利用したかというものでしたが、どういう時期に子育てに悩んでいるか、解決しているか、どういう支援を求めているか等を聞く形になっております。

本調査については、「乳幼児を持つ親」「小学校3年生の子供を持つ親」「中学校2年生本人」の3種類を実施する予定となっております。

ご覧いただいております調査票の内容につきましては、地域保健計画推進部会でご意見をいただき、反映したものを提示しております。

調査票の内容については、今回の保健福祉協議会でご意見をいただいた後、平成27年度末に終了しております児童育成計画推進部会の元部会長等にも、ご意見をいただいた上で、最終案を地域保健計画推進部会でお示しする予定としております。

- 会長 質問、意見はございますか。

○C委員 近年、里親制度を利用されている親御さんもいらっしゃいます。乳幼児の親向け調査の中に、里親の方では回答がしづらい問題がありますので、選択肢やかがみ文の中で一定の配慮をいただけたらと思います。

○子育て支援課長 持ち帰らせていただき、表現等について検討させていただきます。

・地域福祉関係者向け調査【資料8-9】

○地域福祉推進課職員 地域福祉関係者向け調査票につきましても、基本的には前回同様にしていきたいと考えておりますが、問9の「示した言葉をご存知ですか？」という問いについて、「東村山くらし・しごとサポートセンターほっとシティ東村山」「地域包括ケアシステム」「障害者相談支援事業所」「子育てパートナーころころたまご」「ゆりかご・ひがしむらやま事業」を追加させていただきたいと考えております。

○会長 質問、意見はございますか。

○会長 問9に示した言葉は既に追加されているのか

○地域福祉推進課長 こちらは、今回、民生委員・児童委員さんをはじめとする地域福祉関係者の皆さまに福祉に関係する制度や施設について、どの程度ご理解をいただいているかを確認する設問となります。そのため、関係所管より、確認したい用語を選出していただき設問に追加いたしました。

○会長 ほかに質問、意見はございますか。無いようですので、第1回東村山市保健福祉協議会を終了いたします。